

我が市政を問う！

一般質問

伊勢 純 (日本共産党)
中東情勢の影響による急激な物価高騰と資材不足への対策
カキ種苗の導入・育種
草刈りへの本市支援制度

大坂 俊
本市の財政状況と今後の財政運営
本市教育委員会の史実と伝承の考え方

福田 利喜 (創生会)
土地区画整理事業で整備した区域の利活用
ふるさと納税

大和田加代子
陸前高田市市民の森
ボランティア

大坪 涼子 (日本共産党)
復旧整備された市内の体育交流施設の利活用
状況及びスポーツのまちづくり
一人ひとりを大切にした学校教育

佐々木良麻 (こづほく未来創生)
大学誘致
広域連携
高田松原花火の開催

藤倉 泰治 (日本共産党)
市政課題と市長の政治姿勢
東日本大震災15年と今後の防災対策
ツキノワグマから市民の命と安全を守る

木村 聡 (こづほく未来創生)
財政の考え方
市が掲げるビジョン
商工業の振興戦略



おおさか たかし
大坂 俊

財政運営の方針は

歳出見直し重要と認識



こちらから視聴できます

問 本市の財政運営における歳入不足対策と運営方針はどうか。

答 歳入不足への対応を財政調整基金の繰り入れのみに頼るのではなく、歳出の見直しを含めた対応が重要な視点であると認識している。そのため、歳入確保に努めるとともに、歳出面においても事務事業の検証、公共施設の維持管理の適正化、デジタル化による効率化を進めたい。

問 委託料や光熱費などの物件費が増加傾向にあることとの認識はどうか。

答 増加傾向にあることは、財政運営上の課題と認識している。物件費は、行政サービスを維持する上で必要な経費であるが、震災後に復旧した公共施設の維持管理費やシステム運用経費なども増加要因と考え



貴重な文化資源が記されている
陸前高田市史

られる。しかし、増加をただ容認せず必要性等の観点から検証を行い、見直したい。

問 史実と伝承の区別は歴史を探究する上で、史実と伝承の役割をどう考えているか。

答 「陸前高田市史」では、別の章立てとして明確に区別しているが、伝承と史実は、共に地域の歴史や精神文化の一端を示す貴重な文化資源と認識している。



いせ じゅん
伊勢 純
(日本共産党)

物価高騰へ制度周知は積極的に取り組み申請支援も

積極的に取り組み申請支援も



こちらから視聴できます

問 急激な物価高騰への対策のひとつは、本市の各種支援制度などを市民や事業者へ改めて周知を図ることではないか。

答 国や県の支援制度も含め、引き続き積極的に周知に取り組みと共に、対象となる事業者がスムーズに申請を行えるよう商工会などと連携し、必要な支援策の実施に努める。



物価高騰への対応策が課題に

カキ三倍体へ支援は

問 高水温に強いとされるカキ三倍体種への導入へ支援は、三倍体種への導入へ支援は、

答 広田湾漁協やカキ養殖漁業者と協議を重ね、4月に水産庁と三倍体カキ種苗を生産している有力企業と意見交換を行った。広田湾漁協は県漁連を通じて、国や県に支援を要望している。

市道草刈り予算は

問 道路愛護会育成事業のうち市道草刈りの実績は、

答 令和7年度の活動は、出役回数が約800回、人員が約1万1千人、作業延長が約700時。奨励金交付額は約300万円だった。

問 道路愛護会の努力に応じた予算の配分は、

答 課題も多いと考えるが、検討していきたい。



ふくだ としき
福田 利喜
(創生会)

ふるさと納税の意義は復興を支える重要な柱



こちらから視聴できます

問 ふるさと納税制度の意義をどのように捉えているか。

答 持続可能な発展、福祉の向上、地域コミュニティの維持、復興を支える極めて重要な「柱」という意義を有していると捉えている。

問 安定して提供できる返礼品の開拓についてどのように考えているか。

答 本市の有力な返礼品については、海産物や農産物が主体であることから、急激にこれを伸ばすことは難しい。しかし、カキについては、高温や疾病に強い種苗の積極的な導入、サーモンについては本市の魅力のかつ安定的な生産が見込める返礼品となるよう関係者と連携しながら取り組む。

かさ上げ地の利用は

問 かさ上げ地全体の利用計画はどうか。

答 立地適正化計画の策定を進めている。併せて、陸前高田市景観計画の見直しも検討していく。

問 土地の利用率を高めるための方策は、

答 用途地域の見直しなど支援策の周知を図りたい。



かさ上げ地の利活用には計画が必要